

報告1 フィンランド

重い障害のある人たちの居住施設

リンネコティ



元牧場という広大な敷地のなかで300名の障害者が暮らし、750名のスタッフが働いている。重症児や盲ろう者のユニット(棟)を訪ねました。一つのユニットは10名程度で、コテージのように点在していました。

フィンランドの首都ヘルシンキ(56万)に隣接するエスポー市は人口22万人。ノキアの本社があり、フィンランド第二の人口の町だ。少し車で走ると、周りには森が広がる。

「フィンランドの北部は国有林です。南部は私有林ですが、キノコやベリーは自由に採っていいんですよ」通訳の川村さんが教えてくれる。

大規模障害者居住施設・リンネコティ(Rinnekoti)は、創立80年。1927年、教会関係組織によって障害者支援の組織がたちあがり、39年に農場を買い、大規模な施設をつくった。1940年代には500人が暮らしていたそう。現在、10人ほどが住む様々なユニット(棟)が広大な敷地内に点在している。

施設の概要を、准看護師で開発コーディネーターのアンネが話してくれた。財団は、約40の自治体から委託を受け、大学と共同研究も行っている。

■施設運営と「オープンケア」をしている

- 施設でのケア(300人利用)は、すべてのサービス(住居、医療、看護、介護、食事、補助器具、運動、音楽など)を提供している。
- グループホーム形式で住宅と介護だけのサービスを利用している人は別に200人いる。
- 重度の障害者が利用している。重複障害や重い自閉症の人たち。
- 利用者の65%は知的障害、20%は重度、15%は9歳から12歳
- スタッフは総勢750名。うち650名はケアに従事している
- 授産の場やデイケア、学校もある。



■質問／障害の重い、軽い、手がかかる、かからない、を判断するのは誰ですか？ 費用はだれが負担していますか？

- 専門家含めたチームによって検討し、家族も納得の上、フィンランド南部地域では最大の施設の「リンネコティ」に入所する。
- 生まれた自治体に(費用含め)すべて責任がある。

＊

訪問させてもらった「重症児のユニット」には10人が住んでいる。

「医療的ケアが必要な子どもたちね」障害乳幼児療育にたずさわる吉田さんがつぶやいた。

- 口から食べられる子は4人。その他はチューブ。
- 学齢児の場合、道を挟んで学校があり、そこに日中は通う。
- 3人の男子は乗馬セラピーも行っている。
- 学校の教員も施設職員。
- 最も重い重症の2人はこの棟が暮らしの場
- こうした「ユニット」には、自閉症の子らの住まいもあれば、大人の住まいもあるそう。サウナもあった。2日に1度は利用しているという。自閉の子は、サウナだととても落ち着くのだそう。

＊

つぎに案内されたのが、盲ろうの人たちがくらすユニットだった。フィンランドでも唯一の盲ろう者（deafblind）の施設で、25 歳から 63 歳までの 12 人が暮らしている。見えない、聞こえない、そして重度の知的障害、肢体不自由の人もある。13 人のスタッフが、午前 4 人、午後 4 人、夜間 1 人の体制で支える。

「みなさんここで普通の家と同じように暮らしています」にこやかに話してくれるのは若い小柄な女性スタッフだ。

「ここは施設ですが、「自分の家」なので、カギは外に行くドアとキッチンにいくドアだけに付け、それ以外は自由に歩けるように考慮しています」

案内された部屋によって、マリメッコのデジーのデザインの色が違う。床の色もそれぞれの部屋で変化している。気がつくと、スタッフのシャツの色もいろんな色合いだ。

「見えなくても色の違いには意味があります。それを考えてカラーコーディネートしてます」

「色も臭いも、いろんな刺激を考えています」

「ロックが鳴ってますね。これは少し聴覚のある人に低音の振動が大事だからです」

「ボールの海」「ドライシャワー」「ジャグジーバス」「臭いのある木」など感覚にはたらきかけるいろいろな道具もそろっていた。

「食事は中央棟から運んでくるので、食事をつく



る臭いがないので、できるだけ、この棟でパンを焼いたりして臭いを出しているんですよ」

＊

日本政府は障害者権利条約のいう「deafblind」を「重複障害」と仮訳し、「盲ろう」と認めようとしていない。「盲ろう」であることの特別な困難をどう考えているのだろうか。

「フィンランドでは知的障害の重さで障害の重さを判断されるが、それだけは盲ろう者のことはわからない」

「盲ろう者のケアは非常に難しい。それぞれのやり方でコミュニケーションが必要だ。本を読んでもわからない。直接接して学ぶ。それはたいへん難しい」

「モチベーションがある人でないと、それぞれの人をいかにわかるかという気持ちのある人でないとケアするのはつとまりませんね」

彼女の言葉は重い。

（蘭部英夫）



上左：岩山の教会・テンペリアウキオ教会 右：ヘルシンキ大聖堂



下左：ホテルのロビー 中：青空市場

